

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

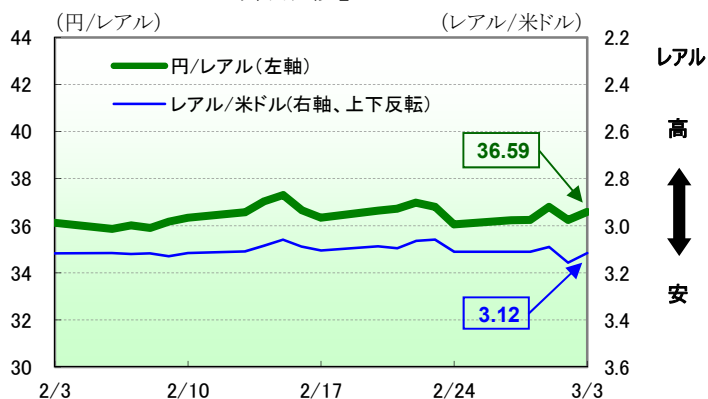
【2017年2月25日～2017年3月3日の推移】

【1】先週の回顧

先週は、レアルは対ドルではほぼ変わらずでしたが、対円では上昇しました。債券は短期の年限を中心に金利が低下しました。リオのカーニバルのため週の前半は祝日になっていました。

週次の中央銀行サーベイで2017年のインフレ予想の低下や政策金利の見通しが引き下げられたため、利下げサイクルの長期化への期待から、金利が低下しました。また、株価指数が反発したことを受け、レアルも上昇しました。中国や米国の製造業PMI(購買担当者指数)が市場予想を上回ったことも、リスク資産への投資需要を高め、ブラジル金融資産の上昇に寄与しました。その後、FRB(米国連邦準備制度理事会)当局者による発言で米国の利上げ期待が高まったことや、ブラジル中央銀行の政策金利決定会合議事録などにおいて、市場で高まっている利下げ幅の拡大期待をけん制する表現がみられたことを受け、ブラジルの金融資産は下落に転じる局面もありました。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年2月3日～2017年3月3日)



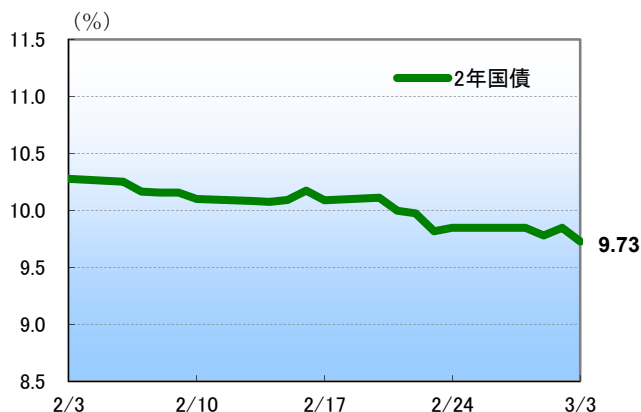
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標が発表される予定です。インフレ率の低下が予想を上回って見られる場合は、利下げ観測が高まると想定します。

テメル政権は、国会で社会保障改革法案の成立を目指しています。先週には、マイア下院議長とメイレス財務相が、社会保障改革法案の政府原案を維持することで基本的な合意に達しました。公的年金支給年齢の引き上げなどの財政緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発が予想されますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられるため、ブラジルへの投資活発化を通じてレアルが下支えされることが期待されます。リスク要因としては、継続的な汚職捜査による国内政治リスクや、グローバル市場全体におけるリスク回避姿勢の強まりとそれに伴う投資資金の流出などが挙げられます。

【ブラジル 金利推移】 (2017年2月3日～2017年3月3日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/2	毎月	2017年2月	ブラジル製造業購買担当者指数 (PMI)	46.9	44.0
3/6	毎月	2017年2月	ブラジル購買担当者総合指数 (PMI)	--	44.7
3/7	四半期	2016年10～12月期	GDP(前年同期比)	--	-2.9%
3/8	毎月	2017年1月	鉱工業生産(前年同月比)	--	-0.1%
3/10	毎月	2017年2月	インフレ率(前年同月比)	--	5.35%

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>